

# (仮称) 太良上池・下池公園 保全活用計画策定等検討委員会

## 第6回 ニュースレター

開催日：2020年9月4日 19:00～

出席者：計30名(参加者14名、事務局12名、傍聴人4名)

第6回(仮称) 太良上池・下池公園 保全活用計画策定等検討委員会が開催されました。2018年8月より開催してまいりましたこの委員会も、今回で全6回の最終回となりました。これまで委員の皆様と議論してきました、公園の整備内容の最終的な確認を行いました。今後の保全活用と、公園の名称についての話し合いが行われ、全会一致で公園の名称が「<sup>だいら</sup>太良まめなしの里」に決定しました。当日の様子をお伝えします。



第6回検討委員会の様子

### 1 開会

小牧市都市政策部 水野次長から開会の挨拶がありました。

### 2 報告事項

第5回検討委員会は2020年2月に開催予定でしたが、コロナウイルス対策のため、郵送による資料配布と意見確認になりました。事務局から、これまでの経緯報告がありました。

○委員のみなさまの意見確認  
○公園・地点の愛称募集

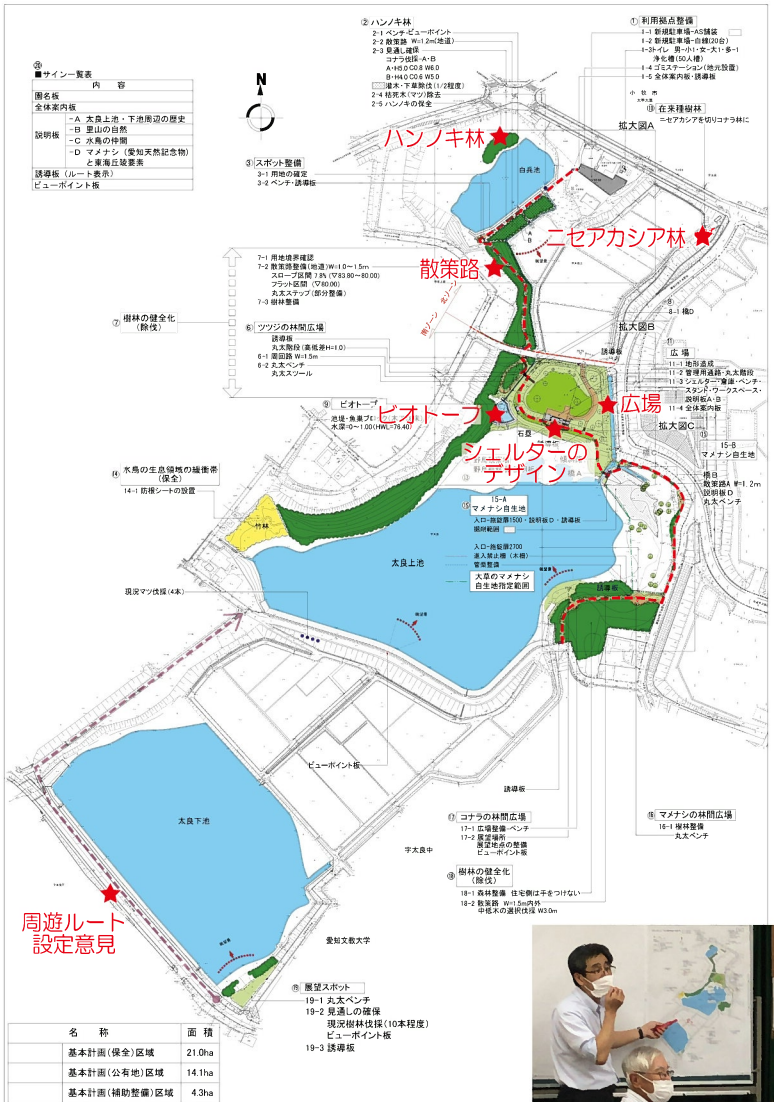
### 3 議題 「各ゾーン、通路の整備・保全・活用（基本設計）の確認」

#### (1) 実施設計の確認

##### ①各委員からの意見シートについて

事前に各委員から頂いた意見をどのように反映したかの説明があり、その後に方針の最終確認がありました。

(仮称) 太良上池・下池公園実施設計計画平面図(案)



意見確認の様子

#### 広場

駐車場に見えない自然な形状の駐車スペースとする。透水性脱色アスファルト舗装を行う。

#### ピオトープ

散策路は北側の一角に留める。防水シートは使用しないで、粘土程度の土抑えにする。

#### 散策路

砂敷き程度とする。田んぼのあぜ道は民有地のためルートには設定できない。

#### シェルターのデザイン

屋根の色は、周囲の景観と調和するグレー色とする。倉庫スペースは機材を置くスペースも確保した広さとする。

#### 周遊ルート設定意見

太良下池西側の農道は、周遊ルートとしては設定しない。水田の所有者の了解が得られれば良いコースになるので、ガイド同行時に限るなどのルールを作り、運用したい。

#### その他

施工業者に  
対して

保全する植物の説明会、講習会を行うと良い。

ハンノキ林

この地域の貴重な植生である事は大切にしたい

ニセアカシア林

コナラ林に転換するため、ニセアカシア林は一旦皆伐する。

| 名称           | 面積     |
|--------------|--------|
| 基本計画(保全)区域   | 21.0ha |
| 基本計画(公有地)区域  | 14.1ha |
| 基本計画(補助整備)区域 | 4.3ha  |

## ②サイン表示内容の検討

### 説明板C（鳥）

#### 説明板A（里の歴史、ため池の役割）

古い時代から歴史的に意味のある場所であることを示す。かいぼりの様子を、写真も使いながら示す。

鳥の種類をはじめ、どういう基準で載せるか、引き続き専門家のアドバイスをいただきながら検討する。

### 案内図+注意板

全体の案内図と注意板は別に設置し、注意板は多くの人が集まる場所に設置することとする。（シェルター脇、老人憩いの家）

#### 説明板B（植生）

植生断面図と、愛知県の「モニタリング100」に掲載されている植物を紹介し、説明板に写真は載せない。写真入りの冊子は別で置いておく。



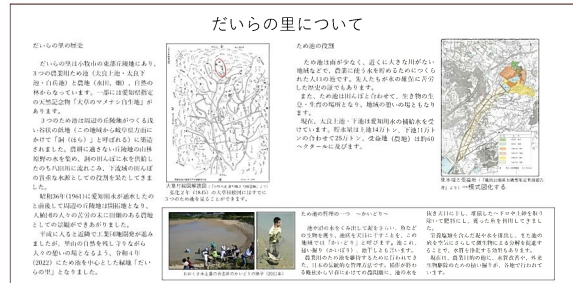
バードシェルターには、一般的には鳥の大きさや名前、種類が分かるような解説板があります。

柴田委員（小牧市自然環境観察人）

#### 説明板（マメナシ）

現在あるものと同じ内容のものとする。

### <説明板Aイメージ>



里地里山が生物多様性を維持しているのだ、ということを伝えたいです。

増田委員（名古屋工業大学）

## (2) 保全活用について

保全活用計画書（案）、保存活用計画についての説明がありました。

### ■みどり公園課より

#### 【保全活用計画書（案）】

立案した保全活用計画書（案）は、地域の皆様と、更に具体的な内容について、県と相談しながら作成していきます。

### ■文化財課より

#### 【保存活用計画（愛知県文化財保護条例）】

令和2年4月施行の愛知県文化財保護条例の一部改正により、保存活用計画の認定が申請できるようになりました。この計画の中で、将来現状変更等が行われる具体的な行為と区域が特定され、その計画が認定を受ければ認定を受けた現状変更等は、事後の届出で行うことができます。小牧市文化財保護審議会の意見を受けて、今年度中の策定・認定を目指します。

## (3) その他

### ①公園名称・地点名称について

事前に地域のみなさまから頂いたネーミング募集の結果を、各区長にご報告いただきました。

#### ○稲垣委員（大草東区長）



地域のみなさんに名前を出して頂いた結果、‘マメナシ’もありましたが、‘だいら’の方が多かったように思います。

#### ○中川委員（小牧ヶ丘区長）



ある程度の位置図けを定める事と、ここでアピールできるものは何かということで、‘マメナシ’という意見が多かったです。



発言の様子

ネーミング募集の結果を踏まえて、地元の委員中心に良いと思う名前を挙げていただき、その中から、投票を行いました。話し合いの結果、全会一致で



だいら  
**太良まめなしの里**

に決定しました！

### ②工事中、工事後の関わり方について

小牧市より、今後、委員のみなさまの現場への関わり方についての説明がありました。

- ・現場視察を行う（令和3,4年度、各年1回）
- ・子どもたちによる植樹を検討する（工事完了後）

### ③その他（文化財課）

- ・マメナシサミットについて…今年度中に愛知文教大学で開催予定で、太良マメナシ公園のPRの場にもなると考えています。委員の方々、地元の方々は、ぜひご参加ください！



1月に行われた「生物多様性COP10の10周年イベント」で、小牧の自生地についてしっかりアピールしてきました。小牧市のマメナシサミットは、出来たら花の咲く時期にやれば、お花も見ていただけるのではないのでしょうか。

今枝委員（リリオの会）



発言の様子

## 4 あいさつ



最初のスタートから12年という長い時間をかけて、地域のみなさまと一緒に作ってきた計画が完成しました。子どもたちや地域の人たちの新しい自然環境の場がこれでやっとできるのかなという想いです。

岡田委員長（名古屋造形大学）

## 5 閉会

- ◆この検討委員会で頂いたご意見を基に、今後よりよい公園となりますように市も取り組んでまいります。長い間ありがとうございました。